



# 8月30日(月)～9月5日(日)は防災週間

# 地震への備え、できていますか？

問／危機管理課 内2374 ☎463-1788

## ●わが家を安全な空間に

地震対策は家具転倒・落下防止から。自分でできる転倒・落下防止対策をご紹介します。

<p><b>タンス</b> ポール式器具 連結金具 あて板などで強度を補強 ストッパー さしこむ</p> <p>ポール式器具はタンスの奥の方（壁側）で、天井や家具の硬いところに取り付けます。また、天井側だけでなく床の側もストッパーなどで固定し、上下に分かれている家具は連結しておきましょう。</p>	<p><b>食器棚</b> L字金具 ガラス飛散防止フィルム 滑り止めシート とめ金</p> <p>食器棚の本体はタンスと同じように金具などを用いて固定します。また、開き戸が開かないようにとめ金を付けたり、ガラス部分にガラス飛散防止フィルムを張ったりして、ガラスや食器が凶器にならないよう工夫しましょう。</p>
<p><b>冷蔵庫</b> 転倒防止ベルト</p> <p>主なメーカーの冷蔵庫の後ろ側の上部には、ベルトの取付口や取ってがあります。そこに転倒防止用のベルトを通して、ベルトの端を壁の下地材があるところに金具などで固定しましょう。</p>	<p><b>テレビ・パソコン</b> ヒートンヒーロープで固定 ストラップ式固定器具 粘着マット</p> <p>テレビの取扱説明書に転倒防止方法などについての説明がある場合は、それに従いましょう。テレビをテレビ台に固定するには、粘着マットやストラップ式の固定器具などを使う方法があります。テレビを壁などに固定するには、ベルト式器具やヒートンヒーロープを組み合わせて使う方法があります。</p>

## ●日ごろから家族で確認を

地震が起きてから慌てないために、以下のようなことを前もって家族で決めておくと安心です。

### 避難場所と避難経路

避難場所の位置や避難経路は、事前に2つ以上は確認しておきましょう。散歩などをしながら、家族で避難場所まで行き、避難経路を確認しておくとよいでしょう。

- 朝霞市では、小・中学校や市民センターなど、43か所の施設が避難場所に指定されています。そのうち、小学校（10校）を地域防災拠点と位置づけ、災害用物資備蓄倉庫や無線設備を備えています。

### 家族の連絡先・連絡方法

地震が起きたとき、家族がはなればなれになっていても、共通の連絡先や災害用伝言版「171」などで確実に連絡がとれる方法を確認しておきましょう。

- 毎月1日は災害伝言サービスの体験の日です。防災週間（8月30日～9月5日）の期間中も体験できます。
- 携帯電話による災害伝言版サービスへのアクセス方法



ドコモ



au



ソフトバンク



ウィルコム

### 非常持ち出し品

非常持ち出し品は、両手が使えるリュックなどにまとめて、すぐに持ち出せる場所に保管しましょう。また、定期的に中身をチェックし、家族構成などに合わせてその時々に必要なものを備えるようにしましょう。



## ●地域で備えを

地震から身を守るには、地域全体で協力することが大切です。

### 日ごろからの地域交流

いつ、どんなときに、助ける側、助けられる側になるかわかりません。日ごろのご近所づきあいを通して交流を深めておくことが地域での最大の備えです。

### 自主防災活動への参加

多くの自治会・町内会では、定期的に防災訓練を実施しています。また、自治会・町内会の中には、自主防災組織を結成しているところもあります。こうした活動に積極的に参加することで、地域の防災力は向上します。